

10月24日(火)

暴風、魚、とうごま、虫、東風

聖書朗読 ヨナ書 1章

人々は驚いて言った。「風や湖までが言うことを聞くとは、いったいこの方はどういう方なのだろうか。」
マタイ 8:27

主は、ヨナの乗っている船めがけて嵐を起こされました。水夫たちがヨナを海に投げ込むと、神様の激しい怒りがやんで、海は風(なぎ)になりました。それから、神様は大きな魚を備えて、ヨナを呑み込ませました。やがて、主は魚に命じて、ヨナを陸地に吐き出させました。神である主は一本のとうごまを備えて、ヨナの頭の上の陰になるように生えさせましたが、翌日、このとうごまをかむようと、一匹の虫を備えられました。それから、神様は、ヨナに向かって吹き付ける焼けつくような東風を備えられました。

私たちに制御不可能な自然のあらゆることを支配される神様に対して、驚かすにはいられません。私たちに嵐を起こしたり鎮めたりはできませんが、神様はおできになります。私たちは魚に指図したりはできませんが、神様はおできになります。私たちは植物を育て、害虫を駆除するのに苦労し、それでも大抵失敗するのですが、神様は違います。風でさえも神様の命令に従うのです。

ヨナ書を読むと、嵐の真っ只中にいようが、蔓(つる)がからまる道を歩いているように、神様が支配されているのだということを思い出することができます。私たちの神様は驚くべきお方です。

讃美歌 海と空つくられた主

祈り 神様、あなたがすべてのものを支配されていることを知っています。風や湖までが言うことを聞く、あなたをほめたたえます。イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。



唐胡麻

オクラホマ州 エドモンド
ハロルド・シャンク

10月25日(水)

どんな時にも信頼する

聖書朗読 ハバクク書 3:8~19

ですから私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、おりにかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。

ヘブル 4:16

チャールズ・ディケンズは、その著書『二都物語』を、『それは最良の時代であり、それは最悪の時代であり』と書き始めています。預言者ハバククも同様に書けたのではないのでしょうか。

悪い時代でした。預言者ハバククは困難に埋もれていました。神様に叫び求めながら、彼は困惑していました。あらゆる所で不品行が行われているのはなぜなのでしょう。神様は救ってくださらないのですか。それは最悪の時代でした。神様はお答えになりました。具体的にではなく、ハバククに、信じて神様の時を待つようにとおっしゃることによって。ハバククは、神様がなされたことすべてを思い起こし、自分が置かれている状況ではなく、神様を見上げることによって、再び集中することができました。『しかし、私は主にあつて喜び踊り、わが救いの神にあつて楽しもう。私の主、神は、私の力。』(ハバクク 3:18-19) それは最良の時代でした。

困難な時代にあつて、私たちを支える希望や喜びを見出すためには、神様を見続ける訓練をしなければなりません。私たちに、神様のあらゆるみわざを思い起こさせてくれる聖書があります。私たちは、神様はご自分のご計画をご存じだと信じています。私たちは大胆に神様に叫び求めることができます。状況は変わらないかもしれませんが。あるいは、世の中のありさまを見てがっかりさせられてしまうかもしれません。ハバククのように、私たちは神様に完全に信頼して、態度を改めなければなりません。コーリー・テン・ブーム(訳注:第二次世界大戦中に多くのユダヤ人をナチスから助けたオランダ人クリスチャン。ホロコースト生残者。1892-1983)は言いました。“未知の未来を、私たちが知っている神様にお任せすることを恐れてはならない。”

讃美歌 291

祈り 父なる神様、私たちの生活は、この世の心配事で身動きが取れなくなっているかもしれません。でも、私たちがあなたに信頼する時、あなたの

恵みが私たちを取り巻きます。常にあなたのお導きを求めることができるように、あなたの時機を信じて待つ力をお与えください。イエス様のお名前によって。アーメン。

A Tale of Two Cities

18世紀のパリとロンドンを舞台にフランス革命の前後を描く壮大な超大作



チャールズ・ディケンズ著

二都物語

イギリスの小説家
(1812-1870)
『クリスマス・キャロル』
『オリバー・ツイスト』



テキサス州 サイプレス
ラニ・ロビケット

10月26日(木)

群衆の目を見つめて

聖書朗読 マタイ 5:1~12

また、群衆を見て深くあわれまれました。彼らが羊飼いのいない羊の群れのように、弱り果てて倒れていたからである。
マタイ 9:36

今日の聖句を読むといつも、私の想像力は大いにかき立てられます。私は心の眼で、イエス様が、ところどころに低木や岩が点在している草深い坂道をゆっくりと上って行かれるのを見ます。丸っこい大きな岩の所に来て、お座りになり、振り向かれます。イエス様は、坂の下の方に広がって、三々五々（三人、五人の小さなまとまりになって）地面に座っている群衆を見渡されます。イエス様の目をじっと見つめるほど近くにいる人たちもおおぜいいます。

イエス様には誰が見えたのでしょうか。人生の様々な事情に打ちのめされた、愛されていない妻。最近、妻と生まれたばかりの赤ちゃんを失い悲しみに暮れている夫。市場で毎日、施しを受けている年老いた未亡人。真理と導きを熱心に求めている、若い見習い律法学者。群衆を監視するつもりだったのが、いつのまにか聞き入っているローマ兵士。弟を膝に乗せている少女。賢明な忠告を与えるという評判の会堂司。大きな犠牲を払うことになる、弟子への道を歩み始めたばかりの、何人かの親しい友人たち。

神の国という次元において、イエス様は私たちの目を見つめられます。私たちの希望を、目的を、置かれている窮地を、信仰を、ご覧になります。そして、私たちをあわれんでくださいます。

聖歌 521

祈り 全能なる主よ、私たちの内なる御霊を新たに、イエス様の恵みを感じることができるように、今日、私たちを通して恵みがあふれ出るようにしてください。自分自身の力に頼るのは簡単です。今日、あなたの御力に拠り頼ませてください。キリストのお名前によって。アーメン。



テキサス州 ラボック
ケリー・ミラー

10月27日(金)

魔術ではなくて、祈り

聖書朗読 マタイ 6:5~8

またわたしは、あなたがたがわたしの名によって求めることは、何でもそれをしてあげます。父が子によって栄光をお受けになるためです。あなたがたが、わたしの名によって何かをわたしに求めるなら、わたしがそれをしてあげます。

ヨハネ 14:13~14

新約聖書の世界では、魔術は冗談ではなく本気の職業でした。使徒の働きには、呪術者、魔術師、占い師や祈祷師が出てきます。魔術には、効き目のある呪文やまじないを信じることも含まれます。当時の人々の中には、然（しか）るべき言葉を、然るべき方法で唱えるならば、神々の祝福を得られたり、敵が呪われたりすると信じていた人がたくさんいました。

私たちが祈る時は、魔術的見方をする異邦人のようであってはなりません。真の生ける神様は、私たちの父なるお方であって、呪文に答えたりはしませんが、私たちが祈る時、祈りに答えてくださいます。

祈りには力があります。でも、その力は私たちや私たちの言葉にあるわけではありません。私たちが祈りをささげる全能の父なる神様にあるのです。祈りが強力なのは、神様の力が強力だからです。ヤコブが『正しい人の祈りは、働くとき大きな力があります。』（ヤコブ 5:16）と言う時、祈りの勇士を探し求めなさいと言っているのではなく、私たちに正しい人になりなさいと言っているのです。道徳的に完全になるということではなくて、私たちが祈りをささげる父なる神様と正しい関係を持ちなさいということです。

結局は、祈りは関係性の問題であって、言葉ではありません。父なる神様は私たちが知っておられ、愛してくださり、私たちが静けき祈りの時へといざなってくださいと、イエス様は私たちを慰めてくださいます。

讃美歌 310

祈り お父様、私たちが御前で祈りを捧げられるようになった恵みを、言葉では表せないほど感謝しています。あなたは、私たちの思いや必要なものを知っておられます。それらをあなたのみこころに適（かな）うようにしてくださいよう祈ります。御子イエス様によって御前に近づき、そのお名前によって祈ります。アーメン。

コロラド州 リトルトン
ティム・ケリー

10月28日(土)

神 か 富 か

聖書朗読 マタイ 6:19~24

あなたが持っている物すべてを売り払い、貧しい人たちに分けてやりなさい。そうすれば、あなたは天に宝を持つことになります。そのうえで、わたしに従って来なさい。
ルカ 18:22

“金が物を言うのさ。”ランディ・ニューマン(訳注:1943年生まれ、カリフォルニア州出身のシンガーソングライター)は冗談でこう歌っています。でも、正直言うと、私たちは富についてそのように考えている時がある、たぶん大抵はそう考えていると認めざるを得ません。お金があれば、いろいろなものから守られ、権力を手に入れ、人気も得られると思うかもしれません。お金が与えてくれる安全、快適、贅沢を夢見るかもしれません。しかも、私たちは、神様だけにお仕えしていると言いながら、そういったことをしているかもしれないのです。

イエス様は、私たちに対して、はっきりと警告されています。『だれも二人の主人に仕えることはできません。あなたがたは神と富とに仕えることはできません。』(マタイ 6:24) 私たちは富を追及していますか。お金を宝にしていますか。お金を稼ぐのにあくせくしていますか。イエス様はこうもおっしゃいます。『あなたの宝のあるところ、そこにあなたの心もあるのです。』(マタイ 6:21)

お金があると、それが自分の心に侵入しないように、すぐに処分します。

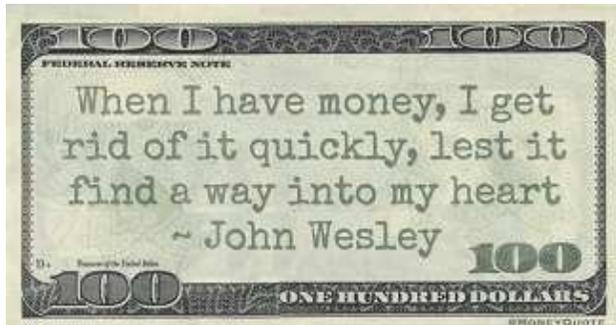
—ジョン・ウェスレー *

* 訳注: イングランド国教会の司祭、メソジスト運動の指導者
(1703-1791)

讚美歌 318

祈り 愛なる神様、富を愛することから、私たちを救ってください。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 ナッシュビル
ゲイリー・ハロウェイ



10月29日(日)

天国で発表される

聖書朗読 マタイ 10:26~33

勝利を得る者は、このように白い衣を着せられる。またわたしは、その者の名をいのちの書から決して消しはしない。わたしはその名を、わたしの父の御前と御使いたちの前で言い表す。
黙示録 3:5

選挙運動中に立候補者の前に立ちたいと、よく一般市民はあこがれたりします。夕方のニュースで、候補者の横に立っている自分の姿を想像したりします。選挙運動のために高額な寄付をした人たちは、皆の前で候補者に認められるという、寄付に見合った丁重な扱いを受けることになります。拍手喝采に圧倒され、その場の雰囲気になやみまわります。でも、それは、せいぜい束の間の荣誉に過ぎません。

大声出して聞こえるくらいの距離にすら政府高官候補に近づいたことのない、ごく平凡な市民である私たちですが、いかなる人間も授けることのできない、はるかに素晴らしい賛辞を期待することができます。天国で私たちの名が発表されるのです。私たちが主と告白した、まさにそのお方によって、天国で名前が呼ばれるなんて、なんて素敵なお褒めでしょう。ちょっと想像してみてください。発表前の一瞬の静寂、そして割れんばかりの歓声! 『主はご自分に属する者を知っておられる。』(IIテモテ 2:19) ですから、あなたが独りぼっちであると感じたり、主は本当に気付いてくださるかしらと疑念が生じたりした時にはいつでも、この素晴らしい真実を思い出して、気分を高揚させてください。あなたの名は天国で知られています!

聖歌 651

祈り 父なる神様、私たちが気落ちしている時、私たちが何者か、何をすることができかを改めて思い起こさせてください。私たちの名が、いのちの書に載っていることを思い出させてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

コロラド州 センテニアル
トラヴィス・アレン